

4 地域支援センター事業

地域支援センターは、地域における高齢者・障害者等へ適切なリハビリテーションサービスを円滑に提供するための業務を全県的な立場で行なっている。地域支援室では「神奈川県リハビリテーション支援センター」として、リハビリテーション情報の提供、人材育成、関係機関の連携を推進する業務を行っており、高次脳機能障害支援室では「高次脳機能障害支援普及事業」の支援拠点機関として、高次脳機能障害者への相談支援と普及啓発活動を行なっている。

(1) 地域支援室の業務（県リハビリテーション支援センター事業）

ア リハビリテーション情報の提供

県内のリハビリテーション関係機関等に関する情報を、地域支援センターホームページに掲載し情報の提供を行っている。平成25年度のホームページへのアクセス回数は36468回であった。

また、地域支援センターで行っている事業の情報発信を目的に「地域支援センターだより」を、リハビリテーション専門研修会の開催情報とあわせてホームページに掲載し、利用者に必要な情報の提供に努めた。フェイスブックによる情報提供も行っている。

イ リハビリテーション専門相談

リハビリテーション専門相談は、リハビリテーションを必要とする高齢者・障害者が住み慣れた地域で自立した生活が送れるよう支援センターの専門スタッフがリハビリテーションの立場から市町村及びリハビリテーション関係機関等と協働して総合相談・情報提供・技術支援などの支援活動を実施するものである。平成26年度の相談件数は245件、七沢病院脳卒中総合相談を合わせ延べ対応は665件で内容は次のとおりである。

表1 リハ専門相談 対応件数

区 分	延べ件数
電話	206
訪問	168
来所 面接	83
メール・その他	19
小計	476
七沢病院脳卒中総合相談	189
小計	665

表3 相談依頼元 相談件数

区 分	件数	構成比
市町村	38	15.4%
居宅介護支援事業所	32	13.1%
障害者更生相談所	26	10.6%
本人家族	24	9.8%
障害者相談支援事業所	24	9.8%
病院	21	8.6%
地域包括支援センター	19	7.8%
障害者施設	16	6.5%
訪問看護事業所	14	5.7%
保健福祉事務所	8	3.3%
高齢者施設	2	0.8%
訪問介護事業所	1	0.4%
その他	20	8.2%
合計	245	100.0%

表2 障害別の相談件数

区 分	件数	構成比
神経・筋疾患	47	19.1%
脳血管障害	36	14.7%
脊髄疾患	34	13.9%
脳性麻痺	33	13.5%
脊髄損傷	22	9.0%
骨関節疾患	20	8.2%
後天性脳損傷(CVA以外)	8	3.3%
不特定	5	2.0%
不明	4	1.6%
その他(内部疾患・切断)	36	14.7%
合計	245	100.0%

表4 相談に対する保健福祉圏域別の件数

区 分	件数	構成比
横三	12	4.9%
県央	75	30.7%
湘南東部	25	10.2%
湘南西部	39	15.9%
県西	72	29.4%
横浜	3	1.2%
川崎	1	0.4%
相模原	7	2.9%
県外	5	2.0%
不明	6	2.4%
合計	245	100.0%

○障害者更生相談所 補装具支給についての評価・判定協力業務

神奈川県障害者更生相談所、相模原市更生相談所がそれぞれ主管する補装具支給に関する業務のうち、電動車椅子と重度障害者意思伝達装置の評価・要否判定について、専門的技術と知識を有する当センターの評価スタッフチームが更生相談所業務の協力を行っている。

区 分 ()内は相模原市	相談 件数	対応 総数	評価・要否判定 実施件数	関与スタッフ(延べ数)
電動車椅子	26(1)	57(5)	13(2)	Dr 20、PT 28、RE 50、SW 55
重度障害者用意思伝達装置	1	1	0	OT 1、SW 1

○養護学校（特別支援学校）福祉用具体験会の開催

昨年度より、地域の肢体不自由児養護学校において、福祉用具体験会を実施している。児童期より家族や学校関係者が福祉機器・用具の知識をもち使用方法の体験を通すことで、利用の導入がスムーズに図れ、介助負担の軽減や社会参加の機会を拡大することを目指すものである。

学 校	主催	生徒・保護者 教員等 参加者数	スタッフ 人数 職種	協力業者
県立鎌倉養護学校	学校・自立活動	約 50名	PT.2、OT.1、RE.1、横浜リハ1	11社
県立座間養護学校	PTA	約 100名	PT1、OT.1、RE3、SW.1	11社
県立茅ヶ崎養護学校	学校・支援連携グループ	約 60名	Dr.1、PT.1、OT.1、RE.3、SW.1、横リハ1	9社
県立平塚養護学校	学校・連携グループ	約 100名	Dr.1、PT.1、OT.1、RE.3、SW.1、横リハ1	13社
県立三ツ境養護学校	卒業父母余暇活動支援グループ	約 30名	横リハ2、SW.1	18社

○保健福祉事務所への難病支援の協力

保健福祉事務所からの依頼により、難病による神経筋疾患に対する地域の支援者向けの研修、および当事者家族向けのリハビリ教室の講師派遣を行っている。難病者の在宅生活を支えるために必要なリハ知識とコミュニケーション支援などの環境整備等の研修と個別相談を実施した。

依頼元	内容	件数および 参加人数	派遣職員
平塚保健福祉事務所	難病患者在宅ケア従事者研修講師	52名	OT/RE
厚木保健福祉事務所 大和センター	難病リハビリ相談(専門相談扱い)	2件	PT
平塚保健福祉事務所 秦野センター	難病患者地域支援ネットワーク事業 個別相談会	5件 7名	PT
小田原保健福祉事務所 足柄上センター	難病リハビリ相談会	6件	PT
平塚保健福祉事務所 秦野センター	難病患者地域支援ネットワーク事業 個別相談会	5件 6名	PT
平塚保健福祉事務所 秦野センター	難病リハビリ教室講師	8名	PT
茅ヶ崎保健福祉事務所	在宅難病患者保健医療福祉従事者研修	30名	SW/OT
平塚保健福祉事務所 秦野センター	難病リハビリ教室講師	16名	PT
厚木保健福祉事務所 大和センター	難病リハビリ相談(専門相談扱い)	2名	PT

ウ リハビリテーション研修事業

地域でリハビリテーションサービスに携わる理学療法士、作業療法士、言語療法士、保健師、看護師、ソーシャルワーカー、ケアマネジャー、介護職員、福祉施設支援員などの専門職員に対し、リハビリテーションに関する技術的指導や援助方法等の研修を次のとおり実施した。

表 リハビリテーション研修事業の実施状況

NO.	区分	開催日	定員	受講者数	延数	評価/5点	内部参加者
1	PT・OTのための土曜教室(25年度未実施分)	4/5	32	24	24	4.8	0
2	脳血管障害の理学療法	4/19,5/17	20	19	37	4.8	23
3	脳血管障害のリハビリテーション(理解編)	5/16	30	37	37	4.4	3
4	脳血管障害の方への復職支援	5/24	30	19	19	4.4	5
5	脳血管障害の作業療法	6/7	16	15	15	4.6	3
6	摂食・嚥下障害のリハビリテーション	6/13	30	38	38	4.4	0
7	イブニングセミナー	6/19	10	18	18	3.7	92
8	地域リハビリテーション推進研修	7/2	20	20	20	4.7	0
9	OTハンドリング入門	7/5	50	54	54	4.8	6
10	機能訓練指導員研修	7/9,7/10	40	51	102	4.4	4
11	PTハンドリング入門	7/12	50	38	38	4.7	2
12	臨床家のための三次元動作分析入門	7/26	10	5	5	4.2	2
13	高次脳機能障害セミナー(理解編)	8/30	200	213	213	4.4	23
14	脊髄損傷のリハビリテーション(理解編)	9/3	30	36	36	4.3	4
15	補装具専門研修	9/10	20	17	17	4.6	5
16	脊髄損傷のリハビリテーション(実務編)	9/13	30	36	36	4.6	1
17	車椅子シーティングの理論と実際	9/20	24	27	27	4.5	6
18	排泄ケアの知識と実践	10/9	50	63	63	4.2	1
19	住宅改造・改修セミナー	10/11	30	42	42	4.3	3
20	PT・OTのための土曜教室	10月～2月毎月1回	24	32	145	4.7	0
21	かながわりハ工学福祉機器フェスティバル 当事者向け研修	10/25	20	13	13	4.6	0
22	重度身体障害の方へのテクニカルエイド(移乗編)	10/26	24	29	29	4.5	1
23	褥瘡予防セミナー	11/18	50	57	57	4.2	3
24	高次脳機能障害セミナー(実務編)	12/6	50	72	72	4.4	11
25	知的障害の方の身体機能低下への対応	12/9	30	62	62	4.2	0
26	高次脳機能障害セミナー(就労支援編)	H27 1/24	40	43	43	4.5	5
27	脳血管障害の下肢装具	H27 1/31	30	24	24	4.4	3
28	PO・PT専門研修	H27 3/8	30	27	27	4.6	6
29	かながわりリハビリテーション・ケアフォーラム	H27 3/15	200	78	78	4.1	27
30	ケアマネジャーのためのリハビリテーション研修	H27 3/17	30	35	35	4.5	0
合計			1,250	1,244	1,426	4.4	239

エ 「かながわりリハビリテーション・ケアフォーラム」の開催

第11回：平成27年3月15日開催 場所：神奈川県総合医療会館 参加人員105人

区分	内容
1. 特別講演	座長：村井 政夫（神奈川県リハビリテーション支援センター所長） 講師：武澤 信夫（京都府リハビリテーション支援センター センター長） 「京都市地域包括ケアと地域リハビリテーション支援事業」
2. シンポジウム	テーマ：「形づくり！神奈川県らしい地域包括ケア」 座長：土屋 辰夫（神奈川県リハビリテーション支援センター 副所長） シンポジスト（1）神奈川県がめざす地域包括ケア 小島 誉寿（神奈川県保健福祉局総務室 企画担当調整課長） （2）厚愛地区における医療介護多職種連携の取り組み 野村 直樹（厚愛地区医療介護連携会議 代表 厚木市医師会 理事） （3）神奈川県における訪問リハビリテーションの取り組み 相川 浩一（神奈川県訪問リハビリテーション協議会 会長） 【指定発言】神奈川県リハビリテーション支援センターの取り組み 蒔田 桂子（神奈川県リハビリテーション支援センター 地域支援室長）

オ 政令市のリハ関係機関との情報交換と連携構築

平成24年度より横浜市総合リハセンター、川崎市北部リハセンター、れいんぼう川崎と相模原市の更生相談所と共同でかながわ地域リハビリテーション支援連絡会を開催している。平成26年度は6月、12月、2月の年3回実施した。各リハセンターの取り組みを報告することで、病院から地域へ途切れのないリハビリテーションを提供するための方法や連携の在り方について情報共有した。

カ 地域リハビリテーション推進モデル事業

特定の市町村をモデル地域として、リハビリテーション人材の育成と地域連携システムの構築を図るもので、保健医療部医療課との協働・連携で行なっているものである。平成21年度と22年度を綾瀬市で、平成23年度と24年度は秦野市で、平成25年度と平成26年度は足柄上郡1市5町において事業を展開した。

1) 地域リハ推進研修

リハビリテーションの連携を推進する目的で、その地域において行なう研修事業である。今年度は足柄上郡1市5町において依頼によるものも含めて7回の研修を実施した。

研修日時	研修名	会場	対象	内容	講師	参加人数
平成26年7月2日	介護家族・介護予防教室 ～まずは自分の「か・ら・だ・」から～	開成町福祉会館	市民	自分のからだを知って、上手に手入れをしよう 負担の少ない介護の方法	神奈川県総合リハビリテーションセンター 地域支援センター 理学療法士 土屋辰夫 同 理学療法士 平田学 作業療法士 一木愛子	20名
平成26年7月13日	山北町健康普及員研修会	山北町健康福祉センター	健康普及員	要介護者の介助方法について	同 理学療法士 平田学 作業療法士 一木愛子	28名
平成26年10月21日	第1回家族介護教室	松田町役場	一般、家族	「なるほど納得！簡単介護のコツ」 目からウロコの介護のポイントお伝えします	同 理学療法士 平田学 作業療法士 一木愛子	17名
平成26年11月11、25日	家族介護教室「介護のコツを知ろう」	南足柄市保健医療福祉センター	一般、家族	自分のからだを知ろう 介護者の体の使い方のポイント	同 理学療法士 土屋辰夫 平田学 作業療法士 一木愛子	27名
平成26年11月30日	移動機器展示・試乗体験会	開成町福祉会館	市民	最新型の車椅子・電動車椅子の展示、試乗会、視覚障害のリハ体験 車椅子バスケットチームによるデモンストレーション	同 理学療法士 土屋辰夫・平田学 作業療法士 一木愛子 ソーシャルワーカー 蒔田桂子、リハエンジニア辻村和見 視覚障害支援員 末田・加藤・佐藤 湘南スポーツクラブ	200名
平成27年3月17日	多職種合同の事例検討会IN足柄上	足柄上合同庁舎	ケアマネ、障害者相談支援、行政、リハ職、看護師	失語症を伴う60代脳血管障害者の社会参加を促す支援	神奈川県総合リハビリテーションセンター 地域支援センター地域支援室長 蒔田桂子	35名

足柄上地区の各市町の地域包括支援センターの介護予防事業の支援において、在宅で家族を介護している一般市民を対象とした家族介護教室を3市町で4回実施した。また、同じく一般市民対象に、開成町社会福祉大会に合わせて、移乗福祉機器の展示と試乗体験会、視覚障害リハ体験会を開催した。また車椅子バスケットボールチームに協力を得てデモンストレーションを実施、市民も参加して車椅子バスケット体験を行い、障害者スポーツの啓蒙を図った。地域の医療・介護・福祉などの支援者向けには「多職種合同の事例検討会」を実施、他分野の専門職の理解と連携が図られた。

2) 足柄上地区巡回リハビリテーション相談会 (PT/OT/SW/高次脳機能障害支援コーディネーター)

月に1回、1市5町の地域包括支援センターを拠点として、地域の支援者からの依頼によるリハ相談を実施した。地域の支援者とリハ専門職が同行訪問または来所にて対応するものである。巡回リハ相談は4月～2月まで計10回、29件の相談を受けた。

また、足柄上地区での今年度のリハ専門相談件数は巡回リハ相談を含め、新規47件、延べ数94件である。

3) 足柄上地区地域包括支援センター連絡会への参加

合同部会、保健師部会、社会福祉士部会、主任ケアマネジャー部会への参加(計7回)、あしがらケアマネ連絡会との合同研修(計2回)、大井町・開成町地域ケアネットワーク会議参加(各毎月、隔月)、足柄上地区障害者自立支援協議会参加

4) 小田原保健福祉事務所足柄上センター「ハイリスク母子支援研修」、「難病リハビリ教室」への専門職派遣(計2回)

(2) 高次脳機能障害支援普及事業

障害者自立支援法に基づく 高次脳機能障害者の支援拠点機関として 高次脳機能障害支援普及事業を行っている。

ア 神奈川県高次脳機能障害相談支援体制連携調整委員会

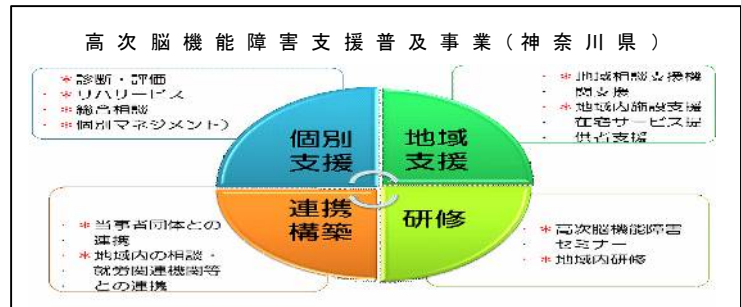
高次脳機能障害者に関する地域支援ネットワークの充実を図るため、神奈川県高次脳機能障害相談支援体制連携調整委員会を開催した。

- 日時：平成 27 年 3 月 10 日（月） 15:00～17:00 場所：波止場会館
（委員会の構成員）

区分	所属
学識経験者	神奈川県保健福祉大学 保健福祉学部社会福祉学科
県の機関	保健福祉局企画調整部病院事業課、福祉・次世代育成部障害福祉課、精神保健福祉センター、総合療育相談センター
国の機関	障害者職業センター
横浜市	横浜市総合リハビリテーションセンター
川崎市	川崎市北部リハビリテーションセンター
当事者団体	障害福祉課
相模原市	NPO 法人脳外傷友の会ナナ
職能団体	医療社会事業協会、かながわ障がいケアマネジメント従事者ネットワーク
サービス提供事業所	愛名やまゆり園
リハセンター	地域支援センター所長ほか 4 名
計	17 名

イ 拠点機関の支援内容の概要

地域支援センターでは、高次脳機能障害相談支援コーディネーターを 4 名配置し、個別支援、地域支援、研修、地域連携を柱とした事業を実施している。



(ア) 個別支援の状況

表 1 相談依頼元の相談件数（重複）

区分	件数	構成比
本人・家族	118	45.2%
医療機関（外来含）	73	28.0%
地域相談窓口	40	15.3%
市町村	5	1.9%
障害者施設	0	0.0%
介護保険関係機関	13	5.0%
家族会	5	1.9%
その他	7	2.7%
合計	261	100.0%

表 2 相談内容別の相談件数（重複）

区分	件数	構成比
就労・教育等	874	11.4%
経済・制度利用	1289	16.9%
福祉サービス・社会資源	1506	19.7%
家族支援	1013	13.3%
リハ訓練（通プロ含）	594	7.8%
医療	506	6.6%
補装具	39	0.5%
福祉機器・用具	4	0.1%
看護・介護方法	18	0.2%
生活課題への対応	1771	23.1%
住宅改修	5	0.1%
医療機関紹介	13	0.2%
その他	4	0.1%
合計	7636	100.0%

表3 障害別の相談件数

区分	件数	構成比
成人外傷性脳損傷	69	26.4%
脳卒中	109	41.8%
神経難病	1	0.4%
小児脳損傷	35	13.4%
腎損・頸損	0	0.0%
骨・関節疾患	0	0.0%
不明	3	1.1%
その他（低酸素脳症等）	44	16.9%
合計	261	100.0%

(イ) 研修会の開催

研修名	対象者	開催日	開催場所
高次脳機能障害セミナー（理解編）	限定無し	8月30日（土）	県総合医療会館
高次脳機能障害セミナー（実務編・一般）	医療・福祉・職業・行政等の分野で障害福祉にかかわっている者及び当事者家族	12月6日（土）	おださがプラザ
高次脳機能障害セミナー（就労支援編）	MSW, P SW, 相談支援従事者、ハローワーク等の職員	1月24日（土）	鎌倉芸術館

(ウ) 連携構築

a 政令指定都市との連携

政令指定都市在住者への支援が多いことなど政令指定都市内の中心的機関との連携支援の必要性が高い状況にある。そのため、横浜市総合リハビリテーションセンター、川崎市北部リハビリテーションセンター、れいんぼう川崎及び相模原市障害福祉課と定期的な情報交換会を実施した。

開催日	開催場所	参加機関
5月30日（金）	横浜市総合リハセンター	・横浜市総合リハセンター（SW・職能担当） ・川崎市北部リハセンター（SW、保健師）
11月21日（金）	川崎市北部リハセンター	れいんぼう川崎（SW） ・相模原市障害福祉課 ・神奈川県リハ支援センター（コーディネーター・職能担当）

b 自立支援協議会との連携

高次脳機能障害者支援の広域的・専門的相談支援機関として圏域事業調整会議および保健福祉圏域自立支援協議会へ参加している。

○ 障害保健福祉圏域事業調整会議

○ 障害保健福祉圏域・市町村自立支援協議会

平成 26 年度 障害保健福祉圏域事業調整会議

日 時	場 所	内 容
平成 26 年 5 月 9 日	アミュー厚木	
平成 26 年 6 月 27 日	海老名市文化会館	各圏域ナビの実践状況
平成 26 年 8 月 22 日	ラディアン(二宮)	県障害福祉課より情報提供
平成 26 年 10 月 28 日	藤沢商工会議所	研修会 等
平成 26 年 12 月 9 日	鎌倉芸術館	
平成 27 年 2 月 12 日	小田原合同庁舎	

平成 26 年度 県・障害福祉圏域・地域自立支援協議会

日 時	場 所	内 容
H26 年 6 月 24 日	鎌倉市福祉センター	
H26 年 6 月 30 日	南足柄市役所	
H26 年 7 月 7 日	海老名市役所	
H26 年 7 月 24 日	平塚市保健所	
H26 年 7 月 24 日	藤沢合同庁舎	圏域ネットワーク形成事業実施報告
H26 年 10 月 29 日	平塚市保健所	各市町村自立支援協議会の実施状況について
H26 年 11 月 26 日	横須賀市総合福祉会館	地域課題の報告及び意見交換 等
H27 年 2 月 9 日	寒川町役場	
H27 年 2 月 19 日	平塚市保健所	
H27 年 2 月 26 日	小田原市合同庁舎	※2/26 当院プログラムのため欠席
H27 年 2 月 27 日	大和市生涯学習センター	
H27 年 3 月 9 日	鎌倉市福祉センター	

c 当事者団体との連携

当事者団体との連携は、NPO法人脳外傷友の会「ナナ」の協力を得て神奈川県リハビリテーション病院内の協働事業室にて入院・外来利用者などを対象にピアサポート支援や本人の活動支援を行い、必要に応じて地域支援センターと連携した研修や個別支援を行っている。

協働事業室利用者数	本人活動支援
1,546	406

ウ 支援の実態調査

a 県西地区 (H26 年度実施)

小田原市 南足柄市 箱根町 真鶴町 湯河原町 山北町 開成町 大井町 中井町 松田町

調査用紙配布数：障害福祉サービス事業所 事業数 98 事業

回収数：66 事業 回収率：67.3%

エ 巡回相談事業

①相模原 (プラスかわせみ)：第 1 土曜日 10 時から 12 時

②チャレンジⅡ：第 1 水 14 時から 16 時当事者会・第 3 水曜日 13 時から 15 時家族会

③小田原 (おだわら障がい者総合相談センター)：第 1 金曜日 14 時から 16 時

④大和 (大和市障害者自立支援センター)：第 3 水曜日 14 時から 16 時

オ 事例検討会等

① 事例検討会

- a 横三圏域相談支援ネットワーク形成事業事例検討会：8/5 開催（参加者 24 名）
- b 小田原市相談支援スキルアップ研修：9/5 開催（参加者 25 名）
- c 大和市研修会：11/19 開催（参加者 48 名）
- d 藤沢市事例検討会：1/21 開催（参加者 20 名）
- e 高次脳機能障害事例検討会 in 秦野：1/30 開催（参加者 22 名）

② 県内研修会への講師派遣

- a 5/17 県西社会福祉士研修会
- b 5/22 身体障害者・知的障害者新任職員研修
- c 6/17 湘南東部地区精神障害者就労支援促進協議会
- d 9/14 リハビリテーション講習会
- e 10/16 精神障害者新任職員研修
- f 12/11 藤沢市精神保健福祉公開講座
- g 1/30 県西社会福祉士車座研修会
- h 2/12 藤沢市ヘルパー連絡会研修会
- i 3/21 楽庵研修会
- j 3/23 聖隷ケアプランセンター研修会

カ ネットワーク育成事業：高次脳機能障害支援機関ネットワーク連絡会

① 2014 年度 第 1 回 高次脳機能障害支援機関ネットワーク連絡会

日時：平成 26 年 7 月 29 日（火）15 時から 17 時半

場所：橋本かわせみの家

② 2014 年度 第 2 回 高次脳機能障害支援機関ネットワーク連絡会

日時：平成 27 年 1 月 28 日（水）15 時から 17 時

場所：チャレンジⅡ

キ 国との連携：全国高次脳機能障害相談支援コーディネーター会議

① 平成 26 年 6 月 24 日：国立障害者リハビリテーションセンター学院

② 平成 27 年 2 月 19 日：スタンダード会議室神谷町店

6 地域の保健・医療・福祉への支援事業

本事業は、センターの持つリハビリテーションの専門機能を地域の関係機関、関係施設等に提供し、センターと各関係機関及び各施設等が相互に連携を図りながら、地域の保健・医療・福祉の向上を目指している。26年度は地域への派遣件数 **392 件**、派遣延人数が **1,981 人**で、実習等の受入は **138 件**、受入延人数は **4,604 人**である。

区 分	事業分類	事業内容	実 績
I 地域保健・医療・福祉事業への支援	1 医学的判定・医学的指導への支援	医学的判定支援	伊勢原市 他 8 か所 小児科 1 人、整形外科 1 人、神経内科 1 人、リハ科 2 人 延 92 人派遣
	2 医療・訓練事業への支援	医療・訓練協力	厚木市立病院 整形外科 1 人、小児 1 人、眼科 1 人 延 36 人派遣 市立甲府病院 整形外科 1 人 延 4 人派遣 厚木精華園 内科 4 人 延 189 人派遣 愛名やまゆり園 内科 5 人 延 186 人派遣 神奈川県身体障害者連合会 他 3 件 脳神経外科 1 人 延 6 人派遣
II 研修事業等	1 研修事業への協力（外部機関の専門職員研修会に講師派遣）	(1) 医療関係職員研修 (2) 福祉関係職員研修 (3) 教育関係職員研修 (4) 労働関係職員研修 (5) 各種相談員・ホームヘルパー・ボランティア等研修 (6) 障害者・介護者(家族)研修	横浜市総合リハビリテーションセンター 「リハビリテーション研究会」 他 26 件 実 52 人 延 97 人派遣 厚木市社会福祉協議会 「同行援護従事者養成研修」 他 34 件 実 40 人 延 77 人派遣 神奈川県立保健福祉大学実践教育センター 「急性期重症者支援」 他 73 件 実 38 人 延 132 人派遣 (株) ビジネスチャレンジド「定着支援」 他 19 件 実 15 人 延 54 人派遣 海老名市健康づくり課「発達相談事業支援」 他 8 件 実 9 人 延 10 人派遣 NPO 地域福祉を考える会 「成年後見制度研修」 他 5 件 実 10 人 延 10 人派遣

区 分	事業分類	事業内容	実 績
II 研修事業等		(7)一般住民研修	日本 ACLS 協会 「B L S ・心肺蘇生法のトレーニング研修」 他 3 件 実 4 人 延 5 人派遣
		(8)その他研修	厚木市社会福祉協議会「ボランティア体験」 他 1 件 実 4 人 延 4 人派遣
	2 専門職員養成事業等への支援	(1) 学生臨床実習受入	(福祉部門) 慈恵会医科大学 他 58 校 実 121 人 延 872 人 (神奈川リハ病院) 神奈川県立保健福祉大学 他 39 校 実 269 人 延 1,667 人 (七沢病院) 北里大学 他 37 校 実 168 人 延 2,063 人
		(2) 福祉施設等職員実習受入	津久井やまゆり園 実 1 人 延 2 人
		(3) 非常勤講師派遣	横浜市立大学 他 17 件 実 19 人 延 63 人派遣
		(4) 各種人材養成研修派遣	公益社団法人日本理学療法士協会 他 26 件 実 30 人 延 365 人派遣
III 障害者福祉行事等への支援	1 障害者スポーツ大会等への支援	身障者スポーツ大会への支援	日本チェアスキー協会 他 14 件 実 34 人 延 70 人派遣
IV 各種団体運営等への支援	1 各種団体運営等への支援	(1)国、県、市町村等の公的機関への支援	神奈川県立総合療育相談センター 他 48 件 実 75 人 延 177 人派遣
		(2) 民間団体等への支援	日本リハビリテーション工学協会 他 38 件 実 93 人 延 228 人派遣
V 調査研究事業等への支援	1 調査研究事業等への支援	調査研究事業等への支援	日本福祉用具・生活支援用具協会 他 10 件 実 17 人 延 38 人派遣
	2 各種委員会への支援	各種委員会への支援	厚木市介護認定審査委員会 他 37 件 実 41 人 延 138 人派遣